



萩・明倫学舎

【本館・2号館】

伝えたい物語が
ここにある。



国登録有形文化財山口県第1号（本館）



150th
ANNIVERSARY
HAGI

藩校跡に建つ日本最大の木造校舎

が萩の新たな観光起点に！

幕末ミュージアム (おがわ是苦集=小川コレクション)

日本でも有数の収集家である、おがわ是苦文氏から萩市に寄贈された、江戸時代の科学技術史、歴史に関する6,000点を超える膨大な資料群のうち約600点を展示。従来、史実で語られてきた在来技術から近代技術への発展の歩みを実物資料(器物)で紹介いたします。ここでしか見られない貴重な資料も展示されます。

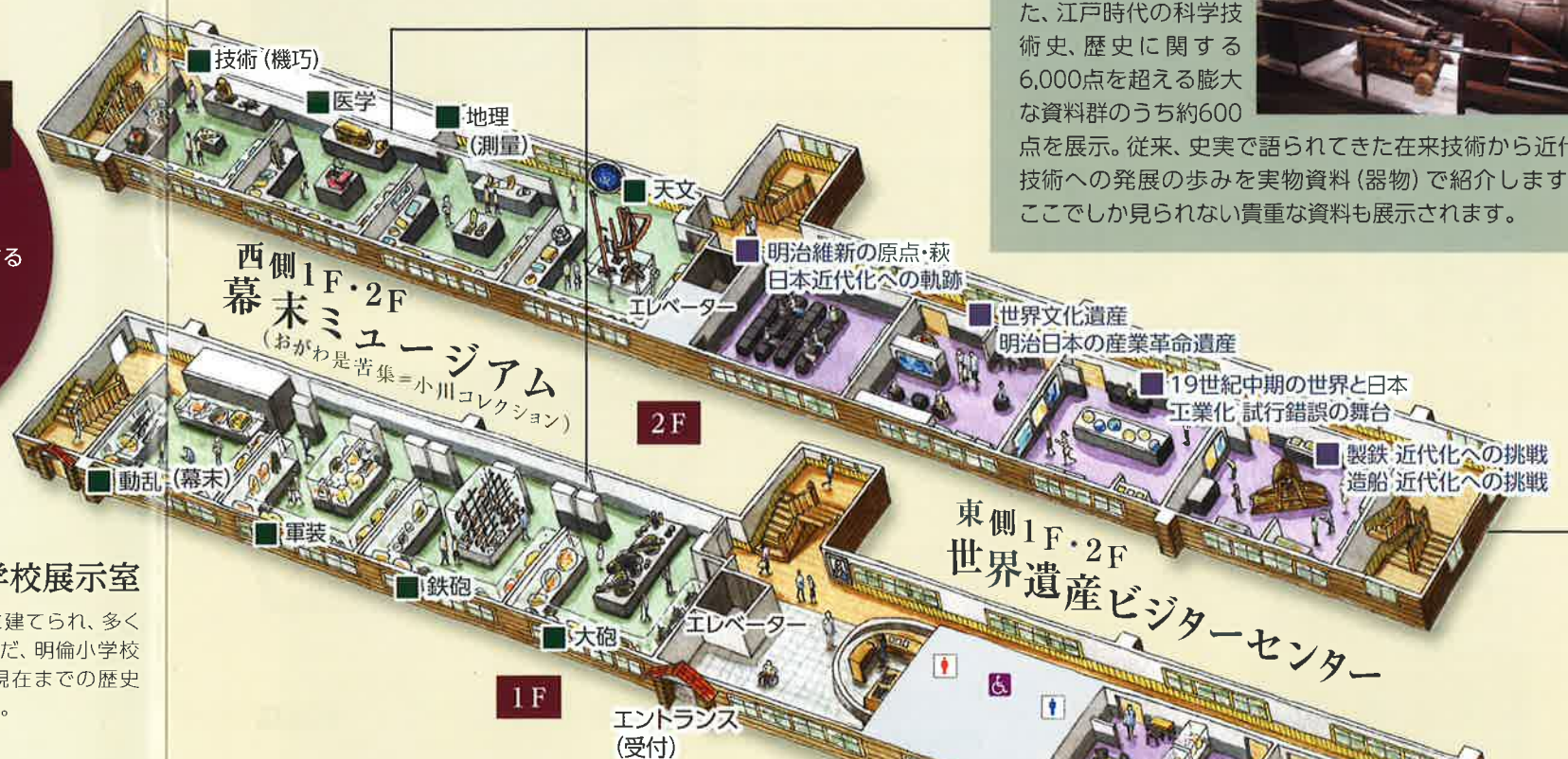


全国屈指の規模を誇った、萩藩校明倫館。その跡地に建ち、近年まで授業が行われていた旧明倫小学校校舎が、新たな萩の観光起点「萩・明倫学舎」としてオープン。藩校の貴重な遺構と、跡地に建つ日本最大の木造校舎には、あなたに伝えたい「物語」があります。

2号館【有料】

(昭和10年建築)

萩の5資産を含む世界遺産「明治日本の産業革命遺産」を紹介する『世界遺産ビジターセンター』と幕末・維新を科学技術史の視点で紹介する『幕末ミュージアム』を開設



萩藩校明倫館展示室

全国屈指の規模を誇った萩藩校明倫館。明倫館の歴史や全国の諸藩校との比較により、その意義を分かりやすく紹介。



明倫小学校展示室

藩校の跡地に建てられ、多くの人々が学んだ、明倫小学校の創立から現在までの歴史を紹介します。

天井裏見学室

国の登録有形文化財である本館の特徴的な建築構造を紹介します。



多目的復元教室

趣のある昔ながらの木造校舎内で、イベントなども行われる復元教室です。

ジオパークビジターセンター

維新とマグマ胎動の地・萩を紹介。萩のジオめぐりの出発点。



復元教室

小学校として使用されていた教室を復元。NHK全国学校音楽コンクール特集ドラマ「はじまりの歌」の舞台にもなりました。

復元校長室

歴代校長が執務した趣のある部屋を復元。

世界遺産ビジターセンター

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の中でも、日本近代化の原点といわれる萩の5資産の位置づけや、吉田松陰がわが国の工学教育に果たした役割などを映像やパネル、アニメーション等を使ってわかりやすく楽しく紹介します。



本館【無料】

(昭和10年建築：国登録有形文化財)

萩の観光はここから！

観光インフォメーションセンターと萩藩校明倫館から旧明倫小学校までの300年の歴史にふれる！



観光インフォメーションセンター

萩の歴史・文化・自然などへの興味を喚起する、観光の起点！市内観光に出発するための情報がここで手に入ります。また、萩・明倫学舎館内の案内もこちらで行っています。喫茶コーナーもあります。



カフェ・レストラン 萩暦 (はぎごよみ)・お土産ショップ

食材の宝庫「萩」。萩暦では日本海で獲れる新鮮な萩のブランド魚や地元の野菜を中心とした萩ならではの旬の味覚を提供。また萩ふるさと大使の熊谷喜八・奥田政行両シェフの監修によるメニューも。お土産ショップでは、萩を訪れる皆さんに、萩にしかないもの、萩に出来ないもの、萩に入らないものなどをそろえています。

ジオパークビジターセンター

本館 2F

維新とマグマ胎動の地・萩を紹介。萩のジオめぐりの出発点

ジオパークとは「地球・大地(ジオ:Geo)」と「公園(パーク:Park)」とを組み合わせる言葉で、「大地の公園」を意味し、地球(ジオ)を学び、丸ごと楽しむことができる場所をいいます。今見える萩の大地のほとんどは約1億年に及ぶマグマの活動によりできました。

ジオパークビジターセンターでは、萩の大地の成り立ちを紹介するプロジェクトマップや萩のジオストーリーを紹介するパネルのほか、五感を使って楽しむハンズオン展示を行っています。また、萩ジオパーク構想推進に関わる市民のみなさんの活動拠点として、ジオツアーなどを企画しています。



観光インフォメーションセンター

本館 1F

- 案内スタッフに加え各種観光パンフレット完備・インターネット利用可能!
- 12面マルチの大画面による萩の見どころを紹介。
- 観光の出発点に便利!手荷物のお預かり・コインロッカー(いずれも無料)あり。
- 喫茶コーナーや自動販売機もあり、ちょっとした休憩場所にも最適です。



復元教室 多目的復元教室

本館 2F

本館 1F



- 昭和30年代の教室を再現(復元教室)
- ミュージカルや紙芝居などのイベントも開催(多目的復元教室)
- 会議等にも使用が可能です。(復元教室・多目的復元教室)
※詳細は7P



天井裏見学室

本館 2F

- 国の登録有形文化財で特徴ある本館の天井裏を見学できます。
- 小屋組みの状態は良く建築当時のものを使用しています。
- 大規模で迫力のある木造小屋組みの技術の一端を見ることが出来ます。



カフェ・レストラン 萩暦

本館 1F

- 新鮮な萩のブランド魚を中心に萩ならではの味覚が堪能できます。
- 料理人で萩ふるさと大使、熊谷喜八氏監修のカフェメニューや自家製スイーツも充実。



萩御膳	2,400円
魚と肉と野菜のミニ3并セット	1,580円
暦ランチセット	1,280円
熊谷喜八氏直伝カレーシリーズ	各980円
萩暦特製ケーキセット(コーヒー付)	880円
カフェラテ	480円

※価格は全て税別
※メニュー、価格は変更する場合があります

営業時間 ●レストラン 11:00~15:00
18:00~21:00
(夜は予約のみ)

●カフェ 11:00~17:00

予約・問い合わせ TEL (0838) 25-8543



お土産ショップ

本館 1F

- 萩を代表するお土産「萩焼」や「夏みかん菓子」など約800種類の商品をそろえています。
- その他地酒やかまぼこ、萩の歴史などを紹介する書籍、ここでしか手に入らないオリジナルグッズもあります。



萩藩校明倫館展示室

本館 2F

幕末から維新にかけて多くの優秀な人材を生み出した萩(長州)藩。その人材育成の背景にある萩(長州)藩の教育制度の特徴を、萩藩校明倫館を中心に全国的な観点から紹介しています。

藩校明倫館の移転、拡充

天保年代、藩主毛利敬親は村田清風らに藩政改革に取り組むよう命じました。明倫館の移転と拡充は、天保改革における文教政策の現れです。列強の外圧が高まる中、人材の養成は喫緊の課題でしたが、旧明倫館の敷地は狭隘で拡張の余地がなかったため、江向の地に移転することになりました。敷地面積は15,184坪におよび、旧明倫館の約16倍に達しました。



明倫館の拡充を指揮した毛利敬親(萩博物館蔵)



重建明倫館の講堂に掲げられていた額

明倫館を拡充し、人材養成を図った村田清風(萩博物館蔵)



史蹟産業博覧会(1935年)に出品された重建明倫館模型(中央に孔子廟)



城下町絵図(重建明倫館部分拡大)(萩博物館蔵)



旧明倫館孔子廟(海潮寺)の鰐尾と「聖廟」と刻まれた鬼瓦

「伝統ある明倫館教育」とは何か。明倫館とは、藩士の子弟を教育し、長州藩にとって有意な人材を輩出することを目的とした藩校である。19世紀に入り西欧列強による外圧が眼前のものとなってきたとき、藩校明倫館は、儒教的素養を備え危機を打開できる人材養成に力を注ぐばかりでなく、海外知識の摂取に向けて積極的に乗り出し、洋学受容の拠点となる。維新の動乱を乗り切った長州藩の源泉は、一つには、こうした藩校明倫館の進取の気風にあったといえる。すなわち、果敢にチャレンジして新しい知識を取り入れ、新たな時代を切り開こうとする、その姿勢である。これは、現代にも受け継いでいくべきものといえる。

福岡教育大学教授 小川 亜弥子



明倫小学校展示室

本館 2F

萩藩校明倫館の跡地に建てられた、「明倫小学校」の歴史を紹介!

明倫小学校は、明治18年(1885年)に藩校明倫館跡地に開校しました。現在は、「萩・明倫学舎」の名称で観光施設に姿を変えましたが、この校舎は昭和10年(1935年)に建設され、平成26年(2014年)まで小学校として使われていました。

この展示室では、小学校の歴史の紹介の他、小学校時代に使用されていたなつかしいアルミ製の給食食器や昭和30年代の「こごご」や「さんすう」の教科書を展示しています。

なかでも、明倫小学校ならではのもので、現在も全校生徒が毎朝行っている「松陰先生のことば」の朗唱を映像で見ることができます。



幕末ミュージアム (小川コレクション)

2号館西側1・2F

幕末ミュージアムでは、日本でも有数の収集家である小川忠文氏(下関市在住)から萩市に寄贈された江戸時代の歴史・科学技術史6,000点を超える資料のうち、特に貴重な実物資料約600点を展示します。

これらの資料は、幕末維新動乱期に使用されたゲベル銃・エンフィールド銃などの鉄砲類や武器類などの軍事関係資料、江戸時代に日本で最初に作られた天文成象図(星図)などの天文関係資料、伊能忠敬が使用したものと同形の象限儀などの測量関係資料、エレキテルと称する電気式医療器具などの医学関係資料、江戸時代に作られた国産の顕微鏡などの科学技術関係資料など、その貴重さ、その展示数において日本屈指の、他に類を見ないスケールとなっています。



鍼灸治療に用いられた経絡人形
もとは萩藩医栗山孝庵が所持していたと伝わっています。



清末毛利家の殿様が遊んだ亀の玩具
ゼンマイ仕掛けにより前進させることができます。記録によれば、萩藩(長州藩)の支藩、清末藩主毛利元承が幼少期より愛玩したものです。



日本で独自に改良された木製の入れ歯
総入れ歯は、日本に伝えられると、江戸時代後期に独自のものに改良・実用化されました。材料にはつげの木が使用されることが多かったです。



エンフィールド銃(ミニエー銃)
長州戦争で長州軍の主力となった新式の輸入銃。



伊能忠敬が使用したものと同形の象限儀



六分円器量地手引草
測量法が解説されています。



江戸時代の扇風機



江戸時代に作られた国産の顕微鏡



精度の高い地図が描かれた地球儀
江戸時代の終わりに作られたとみられます。萩市内の旧家で発見されました。



小川忠文氏から萩市に寄贈されたいわゆる「小川コレクション」は、江戸時代後期の科学技術史(軍事・天文・測量・医学)及び歴史に関する膨大な資料群である。器物と文献の両面から、わが国における科学技術の黎明を通観することができる。日本が明治以降、世界から「19世紀後半の奇跡」と賞賛された急速な近代化を理解するうえで、これほど優れたテキストは他にないであろう。萩反射炉や大板山たたら製鉄遺跡など萩の5つの資産が「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録された今、まさに時宜を得た展示といえるのではないだろうか。

国立科学博物館産業技術史資料情報センター センター長 鈴木 一義

世界遺産ビジターセンター

2号館東側1・2F

平成27年(2015年)世界遺産に登録された、「明治日本の産業革命遺産」について、映像やパネルで分かりやすく解説しています。なかでも、萩にある「萩反射炉」「恵美須ヶ鼻造船所跡」「大板山たたら製鉄遺跡」「萩城下町」「松下村塾」の5資産についての位置づけや詳細、近代化を成し遂げる上で、どのような役割を果たしたのかなど、各コーナーでご覧いただけます。

ここを見てから、現地へ行くことより世界遺産巡りが楽しめます。

- シアターで「明治日本の産業革命遺産」の全体像を紹介
- 大板山たたら製鉄遺跡を紹介するコーナーでは、伝統的製鉄技術である「足踏み式ふいご」体験ができます。
- 吉田松陰が主宰した「松下村塾」をセットで再現。アニメーション映像で松陰が行った工学教育に関する授業の様子をご覧いただけます。
- 吉田松陰の意志を引継いで、イギリスに密航留学し、近代化を導いた「長州ファイブ」(伊藤博文、井上馨、井上勝、山尾庸三、遠藤謹助)を紹介。彼らが命がけで、イギリスに学び日本の近代化を成し遂げた軌跡をご覧いただけます。5人と一緒に記念撮影ができるコーナーもあります。



長州ファイブ



シアター



足踏み式ふいご



「松下村塾」のセット

貸館のご案内

本館にはイベント、講習会、会議等にご利用いただける部屋があります。事前にお申し込みが必要です。
(申し込み・問い合わせ) TEL (0838) 21-2018/FAX (0838) 21-2017

復元教室

昔ながらの木の児童机と椅子のある教室です。会議のほかにも撮影会で利用されることもあります。2部屋あります。

定員/40名(1部屋)
使用料/
1部屋1時間につき250円



多目的復元教室

ステージ、プロジェクター、スクリーンがあります。定期的に紙芝居を上演しています。少人数の楽器の演奏会で使われる団体もあります。

定員/約50名
使用料/
1時間につき300円



展示映像室

会議用机、プロジェクター、スクリーンがあります。研修会や講演会で利用されています。

定員/約40名
使用料/
1時間につき400円



特別応接室

式典や会議などにご利用いただけます。食事会で利用することも可能です。

定員/約20名
使用料/
1時間につき500円



多目的実習室

調理台が2台あります。少グループでの調理実習でご利用ください。

定員/約10名
使用料/
1時間につき300円



年中無休で、利用時間は午前9時～午後5時。市外の方は2倍の料金(復元教室、多目的復元教室、多目的実習室)となり、駐車場をご利用の場合は駐車料金が必要です。営利目的でご利用される場合、市内の方は3倍、市外の方は6倍の料金となります。(復元教室、多目的復元教室、多目的実習室)いずれの部屋も暖房設備を使用した場合1時間につき430円、冷房設備を使用した場合1時間につき210円が別途かかります。

旧萩藩校明倫館

「萩・明倫学舎」は萩藩校明倫館の跡地に立地しており、周辺には藩校明倫館の遺構として、槍・剣道場の「有備館」や、遊泳術や水中騎馬が行われた「水練池」などが見学できます。

旧萩藩校明倫館

萩藩校明倫館は、享保4年(1719年)に5代藩主毛利吉元が毛利家臣の子弟教育のために堀内に開いた藩校です。それから約130年後、嘉永2年(1849年)に現在地(江向)に拡大移転しました。約5万㎡もの敷地内に学舎や武芸修練場、練兵場などがあり、吉田松陰や楢取素彦(小村伊之助)も教鞭をとりました。



ゆうびかん

有備館【国指定史跡内】

有備館は、旧明倫館の剣術場と槍術場を移して拡張したもので、木造平屋建、母屋造、瓦葺、桁行37.8m、梁間10.8mの南北に長い建物です。内部の北半分は板の間で39畳の剣術場、南半分は土間で54畳の槍術場、各々の西側を藩主の上質場とし、中間に藩主臨場などの場合に使う控室があります。有備館は、藩士の練武のほか、他国からの剣術の修業者との試合場、すなわち「他国修業者引請剣術場」でもありました。坂本龍馬も来萩し試合をしたといわれています。



かんよくん

観徳門【市指定有形文化財】

孔子を祀った聖廟の前門。当時、南門と聖廟との間に位置し、方鏡橋を渡り、聖廟を巡らさず石欄内への入口になっていました。本願寺萩別院に移されて客殿門となっていました。昭和57年に現在の場所に移されました。

めいりんがん

明倫館碑【国指定史跡内】

(左側) 文元6年(1741年)6代藩主毛利宗広が創立の由来を伝えるために建てました。(右側) 嘉永2年(1849年)13代藩主毛利敬親が新明倫館の開校を記念して建てました。幕府に対する忠心を意味する箇所(幕命而)が削られた跡があります。



萩・明倫学舎本館【文化庁登録有形文化財山口県第1号】

藩校明倫館跡地に昭和10年10月10日に建てられた木造2階建の小学校舎。東西両端と中央玄関の棟に藩校明倫館の聖廟と同じように鴟尾が置かれ、外壁は白漆喰塗りとなっています。屋根のフランス瓦や連続する窓の意匠が特徴的で、モダニズムへの萌芽も見られます。改修整備し、平成29年(2017年)3月4日、「萩・明倫学舎」としてオープンしました。



なんもん

南門【市指定有形文化財】

新明倫館の正門として建てられました。藩主が聖廟を拝する春秋の「萩菜(孔子祭)」や公式行事以外は開かれませんでした。本願寺山口別院に移され正門となっていました。寄附され平成16年(2004年)に元の位置に移築されました。



せいけんどう

聖賢堂【市指定有形文化財】

聖廟前、観徳門の左右にあった東塾・西塾の遺構。両塾を合わせて一棟とし東田町の阿呼社境内に移築されましたが、大正7年(1918年)に再び現在の位置に移されました。



すいれんい

水練池【国指定史跡内】

藩政時代、遊泳術や水中騎馬が行われました。東西39m、南北16m、深さは1.5mあります。藩校の水練池でわが国に現存する唯一のものです。



萩・明倫学舎 アクセスマップ

〒758-0041 山口県萩市江向602 萩市役所前



交通アクセス

飛行機をご利用の方

- 萩・石見空港
 - 乗合タクシーで約70分(予約制 前日までに申込が必要)
- 山口宇部空港
 - JR新山口駅までバスで28分、JR新山口駅からバスで約60～95分
 - 乗合タクシーで約75分(予約制 前日までに申込が必要)
- 福岡空港
 - 乗合タクシーで約2時間40分(予約制 前日までに申込が必要)
- ご予約・お問い合わせ 萩近鉄タクシー(株) TEL(0838)22-0924

新幹線をご利用の方

- JR新山口駅より
- スーパーはぎ号(萩・明倫学舎直行バス) 新山口駅～萩・明倫学舎(約60分)～東萩駅
- 防長バス(約95分) 新山口駅～美祿駅
- お問い合わせ 防長交通(株)バスセンター案内所 TEL(0838)22-3816 中国ジェイアールバス(株)お客様センター 0570-010-666

車をご利用の方

- 中国自動車道美祿東JCT経由、「小郡萩道路(無料)」 絵堂ICから約20分
- 東京⇄萩(萩エクスプレス) 東京(東京駅八重洲南口) 19:30 → 萩(萩バスセンター) 10:04 東京(東京駅日本橋口) 8:24 ← 萩(萩バスセンター) 17:45
- 京都・大阪・神戸⇄萩(カルスト号) 大阪(地下鉄東梅田駅) 21:45 → 萩(萩バスセンター) 9:40 大阪(地下鉄東梅田駅) 7:00 ← 萩(萩バスセンター) 18:40
- お問い合わせ 防長交通(株)バスセンター案内所 TEL(0838)22-3816

ハイウェイバスをご利用の方

萩・明倫学舎

萩市江向602番地

開館時間 午前9時～午後5時
(萩館) レストラン 午前11時～午後3時
午後6時～午後9時 ※2は予約でのみ営業
●カフェ 午前11時～午後5時

観覧料 本館無料 2号館大人300円、高校生200円、小・中学生100円(団体2割引)
駐車場 普通車 約180台(310円/1回) ※萩市民は無料 大型バス 10台(1,030円/1回)

問い合わせ 萩・明倫学舎 TEL(0838)21-0304
萩館(レストラン・カフェ) TEL(0838)25-8543



萩市キャラクター「萩にゃん。」